

ひだか

HIDAKA GIKAI DAYORI

議会だより

第164号
平成28年10月31日



第5回仁淀川こどもまつり&日高めだかフェスティバル
(開会式において「オムライス街道デザインコレクション2016」の表彰式が挙行されました)

平成27年度決算の認定……………2～5P
 行政報告……………6～8P
 第2回臨時会……………9P
 審議したこと・決まったこと……………10～11P
 請願・陳情・私の意思表示……………11P
 委員会活動……………12～14P
 一般質問に6氏が立つ……………15～20P
 議会日誌……………21～22P

決算認定 〔一般会計 特別会計〕

(単位：千円)

歳入	歳出	翌年へ繰り越すべき財源	実質収支額	基金積立金	基金取崩額
39億3,841万6	37億9,601万1	1億865万9	3,374万7	4億7,634万7	1億8,766万5

(単位：千円)

衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費
2億 5,803万1	1,515万9	1億 3,321万2	3,061万2	6億 9,084万9	1億 9,525万3	6億 2,045万7	1億 2,103万7	3億 9,440万4
2億 5,123万	1,465万5	1億 2,704万2	2,592万8	4億 6,819万5	1億 6,446万5	4億 604万4	1億 366万5	3億 9,440万1
0	0	0	439万3	1億 7,458万6	2,911万2	2億 501万9	0	0

監査報告

決算審査総括

「審査の結果」

平成27年度一般会計ならびに特別会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項別明細書・実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、決算係数は正確であり、執行も適正なものと認める。また、基金の運用も、その係数は正確であり基金条例に基づき、その目的に従って運用・管理されていると認める。

総括

1. 決算規模及び決算収支等の状況

一般会計と特別会計をあわせて決算状況は次の通りとなっており、現状では特別な問題点はない。

実質公債比率は、平成26

(単位：百万円)

	27年度	26年度	25年度
歳入総額	5,688	5,488	5,769
歳出総額	5,528	5,347	5,576
実質収支額	51	47	95
基金残高	2,302	2,055	1,984
借入金残高	3,916	4,050	4,139
実質公債比率 (%)	7.4	7.4	8.6
将来負担比率 (%)	—	—	—

年度7.4%、平成27年度7.4%と横ばいになっており、今後も財政健全化に努力してください。

講評

1. 備品監査について

- (1) 外部への各課備品貸出は、申請書により受け付けること。
- (2) 備品貸出責任者を設けること。

2. 平成27年度決算審査にかん

- (1) 過年度徴収率があがっており、努力の成果と思われる。
- (2) 切手管理簿の整理をすること。
- (3) 金庫での現金管理を通帳管理にすること。
- (4) 変更設計書の変更理由を記載すること。

平成27年度

特別会計

(単位：千円)

	歳入	歳出	実質収支額
住宅会計	2,322万	1,321万4	1,000万6
国保会計	8億 1,298万1	8億 1,271万4	26万7
簡水会計	1億 6,252万3	1億 5,932万7	319万6
介護保会計	6億 7,835万9	6億 7,697万2	138万8
後期会計	7,218万5	6,959万1	259万4

一般会計

	議会費	総務費	民生費
予算現額	6,417万8	1億 708万9	9億 3,253万1
支出額	6,296万6	9億 1,486万1	8億 6,255万7
明許繰越額	0	8,103万4	3,254万2

決算の質疑

〔一般会計〕

問 歳入は、依存財源に頼った財政運営に危機感を持って、さらなる自主財源の確保に取り組んでいく必要があるということだが、確かにそのとおりであると思うが、ただどのような展望を持っておられるか聞きたい。

住民税について収納率がアップしたが、収納金額は減の理由を問う。

デマンドバスの定期運行が延べ246回ということだが、運行の回数に比較して延べ利用人数が少ないが、例えば利用者0人のときもあるか。

結婚活動支援事業で、4組のカップリングに成功したということだが、結婚に結びついたカップルがあるか。

また、結婚サポーターの育成をするといわれておりましたが、見通しはどうか。オムライス街道のスタン

プラーリだが、2年間実施しての経済効果といったことについてどのように考えているか。

庁舎等建設基金の積立予定額は、どれくらいを指しているか。

航空写真は、閲覧を許されているか。

高齢者健康センターの延べ人数は記載されているが、実質の利用者は何人か。

狂犬病予防費で頭数を記載しているが、登録頭数と予防接種をした頭数に、かなりの開きがあるが原因を聞く。

高知県農業公社を通じた貸借事業の実績はどのようなになっているか。

有害鳥獣の猪・鹿・ハクビシン・カラス他とあるが、これは全て、例えばカワウ・サギといったものについても、有害鳥獣として駆除できると思うが、ここに記載されている以外の実績がないということになると思うが。有害鳥獣捕獲班補助金を日下・能津・加茂とそれぞれ

れに記載されているが、増員の余地はあるのか。

買い物代行サービスの延べ人数が記載されているが、利用者は高齢者が主か、年齢層を聞く。

地域振興券を発行した訳だが、経済効果をどのように把握しているか

答 2年間経過したオムライス街道スタンプラーリの経済効果については、初年度はオムライス1食無料としたが、2年目はそれぞれの店での飲食代の割引と村の駅の商品割引の方法を行い、50%近い方が村の駅で利用をされており、効果はあったと考えている。

結婚支援活動については、4組のカップルの追跡調査を行っていないが、村長のお祝いの実績がありませんので、現在婚姻までは至っていないと思われる。結婚サポーターについては、年度内にと考えている。

狂犬病予防注射の接種頭数と登録頭数の違いについては、現在登録数479頭

となっているが、犬が死亡した場合は報告がない、また老犬の場合は注射しないケースがあるようで、このことが要因と考える。

高知県農業公社を通じて農地の貸借事業ですが、当村は県内でも実績があるほうで、沖名に集落営農法人組織があり一帯の農地を、中間管理事業を通じて借り入れており、10ヘクタール以上の実績がある。

有害鳥獣については、駆除頭数は記載のとおりである。

捕獲班については、高齢化が進んでいるが、横ばいで推移をしている。今後、定年退職等をされ、協力をしていただけの方もおいでだと思うので、協力を願っていく。

買い物代行サービスの利用者については、高齢者が主となっている。また妊産婦や通院の方等が利用している。

地域振興券は、村内の商店等で購入するので、効果はあったと思っている。

自主財源の確保ということだが、手数料等の未収等があるので、それらために宅地造成等といったことに今後取り組んでいきたい。

庁舎等建設基金の積立額については、8億円を目標としていたが、資材等の高騰もあり目標額以上の積み立てとなると考えている。

住民税の収納額の減の要因については、団塊世代の定年退職が大きな要因と考える。

航空写真の閲覧は、住民課でできるようになっている。

高齢者健康センターの実質の利用者の人数は、年間の集計はできていないが、平成28年3月では、実人数68人、延べ291人となっており、以前より実質利用者数は増となっている。

デマンドバスの定期運行については、利用者0人の運行はない。利用者数が2.3人弱／日と利用が少

ない状況である。

【特別会計】

問 国民健康保険特別会計基金額が、徐々に減ってきているが、いつごろまでもつかといった見通しは。

答 平成27年度約1千370万円と初めての減となっている。現在の状況で推移すると平成30年度には、基金残額0円となるような状況である。

問 日高村簡易水道特別会計基金が、徐々に減ってきているが、いつごろまでもつかといった見通しは。

答 平成27年度決算による基金残高は、前年度より1千746万4千円の減となっている。現状で推移すると、5年程度で基金が枯渇する状況である。

本年度、今後の水道事業等の計画について料金とのバランスをとるといふことで、委託業務を発注し検討を行っており、この報告を受けて料金についての考え方を整理し、議会に

報告し説明をさせていただく。今後5年間の状況により、料金改定ということもあると考えている。

問 料金の徴収については、ご苦労もあると思うがぜひとも努力をしていただいで、完納していただくよう頑張っていたいただきたい決意を。

答 水道料金については、給水停止ということも踏まえて厳しく対応している。現年分の滞納については、ほぼない状況である。過年度分の徴収は、面談を行い納めていただくようお願いをし、年々減少

している。今後も取り組みを継続していく。

問 日高村介護保険特別会計基金が、徐々に減ってきているが、いつごろまでもつかといった見通しは。

答 基本3期、1期3年間で保険料の算定をしており、基金の支出については、様々な状況を想定し3年間の計画を立てている。

今年、来年の状況によって基金残額が0円となれば、県より借入金を借り、次の期間のときに返していくこともあり得る状況にあることは間違いない。



下分江尻の簡易水道管理棟

平成27年度 財政健全化審査

「審査の結果」

審査に付された、健全化判断比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

○実質赤字比率

地方公共団体の普通会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの。

○連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体としての運営の深刻度を示すもの。

○実質公債費比率

借入金の返済額およびこれに準ずる費用の額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。

○将来負担比率

地方公共団体の一般会計の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの。

	健全化判断比率	平成27年度	平成26年度	早期健全化基準
①	実質赤字比率	— (%)	— (%)	15 (%)
②	連結実質赤字比率	— (%)	— (%)	20 (%)
③	実質公債費比率	7.4 (%)	7.4 (%)	25 (%)
④	将来負担比率	— (%)	— (%)	350 (%)

※該当しない場合は「—」の表記になります。

平成27年度 経営健全化審査

○資金不足比率

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すもの。

「審査の結果」

審査に付された、資金不足比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

比率名	平成27年度	平成26年度	経営健全化基準
資金不足比率	— (%)	— (%)	20 (%)

※該当しない場合は「—」の表記になります。



日高村監査委員による平成27年度会計決算監査

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

早期の復旧・復興を

今年の夏は、台風の襲来のない雨の少ない年となりましたが、東北地方や北海道には大雨や台風により大きな被害が出ています。犠牲になられました方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災されました皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を果たされまますようご祈念申し上げます。台風もこれから本格的なシーズンとなりますので、一昨年の教訓を生かして迅速な対応ができるよう備えたい。

エコサイクルセンター ター廃棄物の発煙 について

エコサイクルセンターに埋め立てた廃棄物から煙が出たとの報告を受けた。概要としては、8月29日に最終処分場内の側壁部付近から煙が出ており、職員が応急的に水をかけて対応したが、遮水シートの一部が損傷。発煙した廃棄物は、フレコンバッグ(粉状の荷物を運ぶための袋状の包材)に入った鉱さいであったと報告を受けた。また、9月2日にも再度発煙したと報告を受けている。

対応としては、損傷した箇所からの汚水の有無を確認するために、モニタリング井戸等の水質検査を行い問題のないことを確認し、原因究明に全力をあげていると報告を受けている。



エコサイクルセンター

昨日の専門家の調査では、鉱さいに鑄物の砂を固めるための接着剤が残っており、それが燃えたのではないかとの見解も示されたが、村民の不安感の解消のためにも、徹底した原因究明と再発防止への取り組みを望むところである。本日の本会議終了後、議員全員協議会を開催していただきエコサイクルセンターより説明を受けることとしている。

「仁淀川大規模氾濫 に関する減災対策 協議会」開催される

8月23日に関係自治体・高知県・気象庁・四国地方整備局による「仁淀川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催し、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、減災のための目標を「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」と定め、各機関が今後概ね5年で実施する取り組みを盛り込んだ「仁淀川の減災に係る取り組み方針」を決定した。日高村の取り組み方針は、平成26年の台風12号・11号による甚大な被害を受け計画を進めているハード対策・ソフト対策等について盛り込んだものとなっている。

「日下川総合内水対策計画」の変更を決定

8月25日に、国土交通省・高知県・日高村による「日下川浸水対策調整会議」を

開催し、総延長約5.3km、直径7.0mの新放水路トンネルルートを盛り込んだ「日下川総合内水対策計画」の変更を決定した。ご尽力いただきました皆様、計画にご理解をいただきました関係する地域の皆様にご心より感謝を申し上げますとともに、いただきましたご意見・ご要望については、国・県及び関係自治体と連携し課題解決に取り組んでまいりたいと考えている。

廃棄物処理体制の 見直しについて

一部事務組合の廃棄物処理体制の見直しについて、現在日高村の可燃ゴミは高知中央西部焼却処理事務組合で、また、し尿は仁淀川下流衛生事務組合で処理しており、両組合とも隣の町と土佐市と日高村の3市町村で構成している。この町については、伊野、吾北地区の可燃ゴミと伊野地区のし尿を両組合で処理しているが、本川地区の可燃ゴミ及び本川、吾北地区のし尿



仁淀川下流衛生事務組合



高知中央西部焼却処理事務組合

については、嶺北広域行政組合で処理している。いの町ではかねてより一つの町で二つの一部事務組合に加入している状況について、見直しの検討がなされてきたところだが、このたび嶺北広域行政組合との協議の中で、いの町が同組合から

脱退することについての同意が示され、いの町より平成29年度から本川地区の可燃ゴミを高知中央西部焼却処理事務組合で、本川、吾北地区のし尿を仁淀川下流衛生事務組合で受け入れてほしいとの申し出があり、組合施設のある土佐市においても地元理解がいたされたことから、現在構成3市町村で協議を進めている。

「村の駅ひだか」の状況について

実質2年目となった平成28年度4月から7月までの村の駅ひだかの直販所の売り上げ状況については、各月とも前年同月より増加しており、4カ月の累計では、前年比で売り上げ113・7%、レジを通過した来客数107・1%、1日平均売り上げ約7万円増の62万5千271円、1日平均来客数約35人増の587人、客単価約62円増の1千65円となっており、好調に推移している。7月5日には、村の駅さんさん市出荷部会の総会において、秋冬、春どり野菜づくりの勉強会を実施し、8月には27日・28日に新米祭りを開催、9月2日には村の駅さんさん市出荷部会の先進地視察研修を行うなど、今後一層の集客増や品質向上に向けて取り組みをする。(株)村の駅ひだかの経営状況については、6月28日に第3回定時株主総会が開催され、平成27年度事業報告及

び決算が承認されたので、今議会に(株)村の駅ひだかの経営状況を説明する書類を提出する。

「オムライス街道」の取り組み状況について

6月13日より来年3月26日まで、参加店舗11店によりトマトの神様をテーマとした新たなスタンプラリースタートし、6月14日にはキックオフイベントとして、日下小グラウンドでオムライス街道オリジナル紙風船を飛ばしてPRし、6月20日にはオムライス街道広報隊任命式とオムライス名刺交付式の実施、8月19日にはオムライス大使委嘱式を行い、くさか里樹さんなど3人の方に委嘱し、また同日トマトの神様の像や歌の贈呈式を行い「オムライス街道」をPRした。今年のオムライスの販売状況は、4月から6月の3カ月間で1万6千65食と、オムライススタジアムで盛り上がった昨年同期の1万6千824食とほぼ同じで引き続き

好調です。

現在、村立の小中学校でオムライス帽子やグッズ等のデザインを募集しており、9月22日開催予定の仁淀川こどもまつり&メダカフェスティバルで表彰式を行う予定をしている。

新図書館オープン

7月16日に多くの関係者の皆様にご出席いただき、新図書館のオープニングセレモニーを行った。350人ほどの参加があり、落成を祝福して保育園児と小学生による風船飛ばしや、餅投げも盛大に行われた。また、公募しておりました愛称は「ほしのおか」と命名された。これは、日高村の5地区の頭文字から名付けられ、希望や道標、シンボルとなるように願いが込められている。今後とも新図書館が住民の皆様親しまれ、文化の拠点となるよう運営に努めていきたい。



エリック・コックランさん

エリック・コックラン さん着任

7月下旬日高村に素晴らしい仲間が加わりました。新しいALT(外国語指導手)のエリック・コックランさんです。アメリカのカゴからやって来ました。エリックさんは、8月に帰国したスミスさんに代わり、村内小中学校の英語学習をサポートしてください。また、学校の授業以外の地域の活動にも、大いに興味を持たれており、今月下旬から英会話教室、ダンス教室を開催する予定です。日本の文化にも大変興味を持っており国際交流を楽しんでいただければと思います。

日独スポーツ少年 団同時交流事業に 参加

7月31日から8月17日の18日間のスケジュールで、下分の渋谷麻斗君、渋谷和志君の両名が、ドイツにおける「日独スポーツ少年団同時交流事業」に参加された。8月27日に報告会が行われ、お二人から、今回の交流事業への支援のお礼と、一生の宝物になった今回の経験を生かし、日高の青少年スポーツの発展に尽くしていきたいと、頼もしい報告をしていただいた。今後とも、日高の青少年スポーツのさらなる発展と伝統が引き継がれることを祈念する。

連携中核都市圏構 想の推進について

現在、高知市を中心とした県内全市町村を圏域とする、連携中核都市圏構想について検討を進めている。この構想は、国の定める

「連携中核都市圏構想推進要綱」に基づくもので、「連携中核都市」となる中心市と近隣の市町村が、地方自治法に基づく連携協約を締結することにより圏域を形成し、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成しようとする新たな広域連携の仕組みである。

圏域の中心市となる「連携中核都市」については、「中核市」であることや、昼夜間人口比率がおおむね1以上であること等の要件が定められており、県内では高知市のみが要件を満たしている。

この連携中核都市圏に求められる役割は、「圏域全体の経済成長の牽引」、「高次都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の3つがある。

連携中核都市圏を形成するための手続きとしては、(1)高知市が行う連携中核都市宣言。(2)高知市と各市町村との1対1での連携協約

の締結。(3)具体的な事業内容や今後の役割分担及び費用負担等を盛り込んだ連携中核都市圏ビジョンの策定が必要になる。また、連携協約を締結するためには、地方自治法に基づき、各市町村議会に議決をいただく必要がある。

この連携中核都市圏の取り組みに関しては、国からの財政措置があり、連携市町村に対し1市町村当たり最大で年1千500万円の特別交付税の措置がある。連携市町村として構想に参加するメリットは、先程説明した財政措置はもちろんのこと、高知市が有する大きなマーケット機能や人・物のハブ機能(交通や物流の要所)を積極的に活用することにおける産業の振興や生活関連機能サービスの向上等を図ることが見込めるので、庁内において検討を行い10の連携事業(案)を提案し、現在、具体的に県内全市町村が参画した検討が進んでいる。

今後のスケジュールについては、現在、各市町村か

ら提案された連携事業(案)を基に、高知市と県内市町村、さらに県も参画して連携事業の具体的な内容の検討を行っている。こうした確認作業を繰り返し行つた後、11月頃から連携事業を登載する都市圏ビジョンの策定に向けて、高知市が外部有識者で構成する懇談会を開催し、その議論を経て来年1月に高知市が「連携中核都市宣言」を行い、3月には議会の議決をいただくうえで、高知市と1対1で連携協約を締結し、都市圏ビジョンを策定したいと考える。

本村としても全市町村での構想の推進に向けて、高知市を含む各市町村の皆様としっかり連携しながら、取り組んでいきたい。

最後に、今議会に提案申し上げます議案は、全16件上程しており、十分な審議をいただき適切な決定を賜りたい。

第2回
臨時会

8月22日(月)・午前9時より第2回臨時会が開催され、議案第51号 村道砥石谷妹背線土木構造物等修繕工事(本村地すべり工区)の請負契約について

質疑

問 工事の概要がアンカー工と排水ボーリングということであるが、私も現地を幾度か見ているが、いつ崩壊をするか分からない状態だ。

もう少し分かる説明を求めます。

答 地すべり工事の基本的な工法を考えている。

構造物もかなり損傷しており、このことを考慮したうえで連続した受圧板も採用しており、十分対応できると考えている。

また、川の構造物について

では、河川の対応となり、地すべり対策の終了後、県の方に対策を願いたいと考えている。

そして、道路の通行については、請負業者が決定したら協議を行い、極力ご迷惑をかけないようにやっていきたいと考えている。

問 受圧板とかその辺りの形状がどうなっているか。

既設アンカーが抜けたところがあるが、対応は。

答 受圧板は、連続したものである。既設アンカー部分は、プレキャストの受圧板を採用し現場の状況によって使い分けている。既設アンカーの抜けている箇所は、打ち増しを計画している。

問 打ち増しということは、

新しいアンカーは抜けてはいけないので、既設アンカーの形状とどれくらい抜けているかを把握しての対応をしているか。

答 既設アンカーの抜け状態は、把握していないが

ボーリング調査を再度行っており、結果を基に検討し決定しており大丈夫である。

問 既設アンカーと打ち増しアンカーの対比を1度行い把握しておくように。

問 この工区は、幾度か工事をしていくが、その度調査をして設計を行っているので大丈夫といってきた中での再度の崩壊だが、今回の工法は、新たな工法か。

答 この箇所は、最初は大雨で崩壊をした災害箇所、長期間通行止めとなった。このときは、災害復旧で山切と壊れた構造物の復旧ということで対応している。この時点で地すべりという判断をしていなかったことにより、後に変状が生じている。そのときにできる最大限の対応ということで、必要な対策を取ってきた。今回大々的な道路の法面調査を行い、この箇所が地すべりの兆候があるということで、再調査を行いアンカー工で対策を講じる必要があると判

断され、今回の工事となった。

問 今回の工事と同じアンカー工ということだが、大丈夫でない可能性が大きいと思うが、どうか。

答 過去にも同じ工法を実施しているが、言われておることも踏まえて、今回の設計には慎重に反映をさせている。

そういったことから今の時点では、この工法で安定・安全が保たれると考

問 おおかたの質疑は、同僚議員がされたが、一番

気になるのは既存のアンカーと今回新しく施工するアンカーの違いが非常に気になるが、後でも構わないので資料を見せていただきたい。

それと地盤を安定させるのに、この排水溝というのは大変大事であると思うが、今回は9本か、これで大丈夫なのか気になる

ところだが、
答 今回アンカー等について

は、設計段階でしっかりやっているが、再度確認をして説明もさせていただきたい。

また、排水ボーリングの本数は、今回のA工区で9本、B工区で6本の合計15本の計画をしている。これもボーリング調査によつて、この本数があれば大丈夫ということになっているので、十分な設計だと思つている。

問 現在、庄田伊野線で何カ所も通行規制がされており、今回砥石谷妹背線も規制をされると、地域住民への生活に大きな影響がでるため、規制の方法を考えていただきたい。

答 アンカーは、3段打つようになっている。施工業者と協議をし、時期的なものも含め、極力住民の皆様にも配慮できる方法を考えていきたい。

審議したこと 決まったこと

平成28年第3回定例会

H28.9.8~9.14

9月議会では、報告3件。同意2件、認定関係1件、条例関係3件、予算関係6件、その他2件、請願1件・陳情1件の計16件の議案等が決まった。

人事

◎日高村教育委員会委員に
鎮西範於氏を任命することに
同意を求めたことについて、
適任とした。



鎮西範於氏

住所 日高村沖名168番地
6
生年月日 昭和18年12月
2日
任期 平成28年10月1日
から32年9月30日

◎日高村教育委員会委員に
瀧本繁廣氏を任命することに
同意を求めたことについて、
適任とした。



瀧本繁廣氏

条例

住所 日高村大花597番地
生年月日 昭和23年11月
24日
任期 平成28年10月1日
から32年9月30日

◎村税条例等の一部を改正
する条例

◎日高村国民健康保険税
例の一部を改正する条例

◎日高村墓地条例

予算

(△印はマイナス)

◎平成28年度日高村一般会
計補正予算(第3号)
歳入歳出予算の総額に歳
入歳出それぞれ3億632万6
千円を追加するもの。

質疑

問 村の駅ひだかの駐車場
購入費は、現在、貸借し

問 環境制御技術普及促進
事業費補助金について、
村はどのように取り組む
のか。

答 現在の駐車場南側の借
地として借りている駐車
場南隣に、一般住宅があ
り、住宅を取り壊した後
の土地購入費である。

問 宅地開発事業の場所、
規模を問う。

答 宅地開発事業の場所
は、下分養護学校へ進入
する道路横にある、森下
電気の裏側になる。規模
は、3区画を予定してい
る。

問 先程のCO₂発生装置
についてだが、ナスの栽
培を安芸の方では、回転
率を上げ収穫量を上げ
る目的で取り組んでいる
ようだが、村においては
高糖度トマトということ
で、収穫量よりも内容の
良さでやっているが、果
たして対応できるのか不
安だが。

答 Uターン希望者住宅
改修事業費は、平成27年
度3月補正予算で3軒150
万円計上していたが、平
成28年度から限度額が1
軒50万円から100万円にな
り、150万円を補正し、合
計300万円です3軒の事業を
実施する。

答 そういった懸念もあつ
たが、昨年の実証実験で
は、大きな変化や糖度へ
の影響はなかったと聞い
ている。今後は、技術的
なことを磨いていかな

ればと思っている。

問 関連するが、日本の従前の温度管理型ではなく、オランダ型農業技術を取り入れていくのか。

答 今回の計画は、CO₂発生装置だけでなく環境測定装置といったものを導入し、適正管理を行い収穫量を上げる取り組みである。県の推進もありオランダ型の技術を取り入れて取り組む。

歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ1千542万9千円を追加するもの。

◎平成28年度日高村介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ143万7千円を追加するもの。

◎平成28年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ250万3千円を追加するもの。

その他

◎損害賠償の額の決定について

◎高知県市町村総合事務組合規約の変更について

◎平成28年度日高村住宅新築資金等特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ119万6千円を追加するもの。

決まったこと

請願・陳情

○日下保育園能津分園舎に関する請願

提出者

保護者会

会長 岡本 知佐

他1人

紹介議員

壬生豊秀

岡本光男

○竜石地区の浸水対策の陳情

提出者

竜石自治会

会長 國本 裕基

他36人

私の意思表明

8月第2回定例会

○賛否の分かれた議案

○:賛成

●:反対

議案	氏名	戸梶章	矢野孝明	森下芳文	横山泰昌	壬生豊秀	野村重夫	森下雅文	岡本光男	西川龍子	尾崎政廣	結果
なし											議長	

(第2回臨時会 全会一致 1件)

9月第3回定例会

○賛否の分かれた議案

○:賛成

●:反対

なし											議長	
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

※賛否の分かれた議案は全て掲載していますが、全会一致の議案につきましては紙面容量によりまして省略しています。

※議長は、議決に加わらないが、賛成、反対が同数となったときは、採決権の行使をします。

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 森下雅文

総務課森下課長・森下参事
兼室長兼検査監より

1. 仁淀消防連合会の夏季演習等、4件の行事について報告を受けた。
2. 議会に提案予定の各事項と補正予算に関して、報告を受けた。

川村住民課長より

1. 村内の全ての建物約1万5千600軒の、調査結果等について報告を受けた。
2. 差し押さえ不動産の、宅地1件と雑種地2件について、公売結果の報告を受けた。
3. 議会に提案予定の、条例改正案2件について報告を受けた。

- 教育委員会片岡教育長・井上教育次長より
1. 村立図書館の利用状況、通学路安全対策協議会による通学路の合同点検の経過等、6項目について経過報告を受けた。
 2. 提案予定の議案2件と補正予算に関する件について、報告を受けた。

経済建設厚生

常任委員会



委員長 壬生豊秀

8月26日(金) 午後1時
30分より

大川内建設課長より

1. 国道33号日下橋交差点改良工事は、今年度に左岸橋台の基礎工事を実施する。
2. 県道谷地日下停車場線の改良工事は、JR沖名踏切南側の日高村の土地の登記ができていないため、今後の県道改良に関わることから通常の手続きでは進まないと判断し、裁判所の判断を仰ぎ村への所有権を求めるところとした。
3. 望ヶ丘墓地公園は、日高村墓地条例の制定をもって経営許可が下り

る。9月から来年1月にかけて工事を実施。2月頃から募集できると思っている。

松岡健康福祉課長より

1. 健康増進事業として、細木病院の中村先生による「糖尿病の講演会」を開催し、参加者は42人であった。
2. 本年度より、県栄養士協会に委託し特定保健

3. 本年度の戦没者追悼式を8月15日に社会福祉センターにおいて、ご遺族20人を含む54人の参加者で式典を執り行った。

指導の充実を図っている。本年度も432人に、受診の勧奨を順次実施する。



整備工事中の望ヶ丘墓地公園

日高村振興対策 特別委員会



副委員長 壬生豊秀

8月26日(金) 午後3時
30分より

大川内建設課長より

1. 鍛冶屋住宅2棟の建築
工事を発注した。請負業者は(株)第1ハイム。請負金額は4千888万800円。工期は平成28年7月30日から29年1月25日。木造2階建。1棟の床面積79.49㎡。

藤田産業環境課長より

「村の駅ひだか」の状況は、直販所の平成28年4月から7月までのそれぞれの月間売り上げは、それぞれの月とも前年度より増加している。4カ月間の累計では、前年度比の売り上げが113.7%。レジを通過した



完成を待つ鍛冶屋住宅の2棟

来客数が107.1%で1日平均7万円増、来客数35人増となった。
また、(株)村の駅ひだかの経営状況は、平成27年度決算で純利益が370万円となり、次期繰り越し剰余金として内部留保する。

その他
庄田いの線の改良については、平成28年度中に7工区は完了する予定であるが、残りの7工区についても実施できる箇所を選定し、早い機会に工事を行うよう執行部に申し入れた。

日高村治水対策 特別委員会



委員長 戸梶章

8月29日(月) 午後3時
30分より

大川内建設課長より

日下川床上浸水対策特別緊急事業の経緯等

1. はけ口部の大内南の谷と大内地区に「日下川放水路対策協議会」が設置され、両地区からの要望書を受理したことで、新放水路ルートが確定された。
2. 放水路呑口付近で追加の水質調査を行ったが、健康被害を生じる恐れがある基準値を全て下回っていた。また、汚染土は今後無害化した上で、適正な処分を行うとの報告を受けた。

3.

新放水路の呑口構造は、堰を一気に可動させた時の影響を少なくするため、TP+13.5mで、110mの固定堰幅で検討しているとの報告を受けたが、現在の可動堰も放水路の能力や下流の揚水能力などにより堰の構造を変えており、これらの経緯等をよく整理し、村として最適な構造を明確にすべきとの意見があった。

4.

平成28年度より、日高村が「仁淀川改修期成同盟会」の事務局となり、8月3日には「仁淀川改修期成同盟会」として、仁淀川の改修に関わって9項目の要望を行ったが、日高村としては「床上浸水対策特別緊急事業」で採択された新日下川放水路の早期の完成を要請した。



緊急雇用創出臨時 特別基金事業調査 特別委員会



委員長 森下雅文

平成28年3月31日(木)
午前9時より

付託された事件についての、調査方法を協議した。その結果、全員協議会に提出された資料等を検討すること、これまでの経過について、担当の経済建設厚生常任委員長と産業環境課長に説明を求めたこととした。

4月11日(月) 午前9時
より

事業の実施内容・経過等について、担当の経済建設厚生常任委員長・産業環境課長から説明を受けた。

4月19日(火) 午前9時
より

前会の委員会での説明の分析と、今後の調査の進め方について協議をした。関係者を招致し事業の内容等について、聞き取り調査をすることとした。

5月9日(月) 午前9時
より

この事業の村の契約相手である(有)Tの元社員M氏に、公述人としてご出席いただき、事業に関する実務内容等について、聞き取り調査を行った。

6月28日(火) 午前9時
より

前回同様、(有)Tの元社員N氏に公述人としてご出席いただき、聞き取り調査を行った。

7月28日(木) 午前9時
より

前回同様、(有)Tの元社員A氏に、公述人としてご出席いただき、聞き取り調査を行った。

8月17日(水)
午前9時より

高知市神田にある、(有)Tの作業所及び事務所の、視察調査に赴いた。

現地では、同社取締役のO氏に立ち会いしていただいた。

帰庁後、感想を述べ合った後、O氏が日高村長に提出している、顛末書について、産業環境課長から説明を受けた。また、今後の調査についての検討も行った。



委員が高知市にある(有)T作業所の視察調査



森下芳文議員

産廃発煙問題



一般質問に6氏が立つ

質問 産廃施設発煙問題で

先日説明を受けたが、当面する対応という中に、遮水シートが取り上げられていなかったことは、遮水シートに対する認識が極めてあまいと思うが、村長の見解を問う。

答弁 戸梶村長

私もそう思うが、原因究明のために役立てていく、そういう形ですぐに対応の中にいれなかったと認識している。

質問 今後、発煙事態という事実

に照らして、持ち込んだ廃棄物が、いつどこにどう置かれているかが把握できる管理体制が必要と思うが、村長の見解を問う。

答弁 戸梶村長

議員のご指摘のように、エコサイクル高知について、いつ事故が起きても適切に対処できるように、搬入された廃棄物の

適正な管理はもとより、施設の管理運営に厳格に取り組んでもらう必要があると私も思う。

連携中核都市構想 高速道への アクセスを

質問 高知市に隣接する日高村

としては、乗っかりやすい構想と思う。国道33号、J R土讃線を有する日高村が、高速道へのつなぎを考える必要があると思うが、村長の見解を問う。

答弁 戸梶村長

高速道へスムーズに乗っていくことは、村にとって重要なことと思う。村にとって大きなメリットと思う。

耐震対策 補助金の上積みは

質問 熊本地震を受けて、耐震診断耐震補強の必要性はより高まっているが、やりたくても持ち出し金が多額ではできない

現実がある。補助金を上積みすることによって加速できると思うが、状況を聞く。

答弁 森下総務課長

日高村としても南海地震等の地震に備えるために、住宅耐震について推し進めたい。

現在の耐震診断費の個人負担金3千円を実質無料に。改修工事については、

補助金が現在92万5千円であるが、上積みを検討している。

その他の質問事項

- (1) 仁淀川にリバーマスターを。
- (2) 新放水路の進捗状況と課題。
- (3) 除塵機の到達点は。
- (4) 空き家対策は。
- (5) 図書館の活用方法は。



エコサイクルセンターの発煙箇所

教育環境の向上を



西川龍子議員

質問 どこに行ってもエアコンがあり、エアコンに慣れた生活が当たり前になった現在、生活の大部分をしめる学校の中だけない現状にある。
昔は騒音対策や臭気対策で設置していたが、今や「熱中症はグラウンドだけではない」との教師の弁もあるように、学校にエアコンは、特別な配慮ではなくなりつつある。市町村によって教育環境が異なってはならない。数少ない日高村の子ども

たちのよりよい教育環境をつくるため、計画的に各教室にエアコン設置を要望するが。

答弁 片岡教育長

近年の気象状況に鑑み教育環境の観点から、エアコン設置への取り組みが、普通となってくる時代だと考えている。

今、村の教育施設環境整備の一番の課題は、築30年以上経過した日下小学校校舎と体育館で、昨年当りから雨漏り等の支障も出てきており、修繕が必要となっている。

今後、大規模改修等の補助を活用することも視野にいられた改修を検討する必要がある。

答弁 戸梶村長

計画をもって順次エアコン導入を図っていきたいと思うが、日下小学校の大規模改修や村の大き

な課題もある。それらを見極めながら、財政的な状況も含め実施時期については、今後検討する。

命を守る 熱中症計の設置を

質問 体育館での熱中症を防ごうと熱中症計を配布した自治体がある。

土・日曜日には、講演会や住民が体育館を利用する。熱中症への注意喚起のために、村内の全体育館に設置をしては。

答弁 片岡教育長

熱中症計は、学校長とも相談し必要であれば、設置する方向で検討する。

次期英語教育への 対応策を

質問 中教審から次期指導要綱の審議まとめ案が示され「何を学ぶか」から「どのように学ぶか」「何ができるようにするか」の視点追加。子どもたちの全体的、対話的で深い

学びを目指す「アクティブラーニング」を全教科で導入し、学習内容を削減しないことも強調している。

英語教育では、小学3・4年生に聞く、話すを中心とした外国語活動を週1コマ(45分間)、5・6年生では、聞く、話す、読む、書くを加えて教科化し、週2コマ増加、小学校は2020年から実施。中学校では2021年から、英語の授業は原則英語で実施し、授業時間や単位の変更はないとしている。

小さなうちから英語に慣れ親しむ教育となる。スムーズに入っている対応策を要望する。

答弁 片岡教育長

学校長とも協議し、県の

外国語教育「コア・エリア実践研究事業」の指定を受ける方向である。まずは、教職員の指導力の向上に取り組む必要があり、ALTと綿密な打ち合わせと連携した取り組みを進めている。今後、学校とも協議しながら、次期指導要領の改定にスムーズに移行できるように、日高村に合った方法も探っていきたいと考える。



日下小学校

伊方原発の再稼働 これだけの危険



野村重夫議員

質問 伊方原発の一番の問題点は、日本最大の活動性を持つ長大断層・中央構造線が原発の敷地から約6 km沖合に存在してい

ることだ。

敷地前面には活断層が

4本走っている。

危険な場所であると思

うがどうか。

答弁 谷本副村長

地震調査研究推進本部が関係の物をまとめているが、指摘のとおり中央構造線、断層帯が約6 km北側に存在している。この伊方原発を含めて日本中どこに建設しても、危険でないと言いつ切りはできないと認識している。

質問 四国電力は、3号機増設の申請(1984年)

で敷地全面海域の断層について、1万年以降は動いていないと主張し国も認め建設されたが、①1990年に別府湾、伊予灘の海底を音波探査したら、断層でずたずたに切れていた。2000年以降に動いている。②四国電力も調査したのにつけられなかった。危険な原発を動かす電力会社が、こんなに簡単に分かるものを見逃す。どんな精緻な検討をした

といっても信用できなくなった。

国と電力会社の断層の見解についてどう思うか。

答弁 谷本副村長

新しい原発の規制基準のもとで、四国電力が申請をし、その内容が通って、その結果が3号機の再稼働となったと思う。

質問 原子力規制委員会で

了承された四国電力の伊方3号機は、活断層がない前提で造られており、基準地振動に疑問がある。①伊方3号機は、基準地振動473ガルであるが、現在の基準地振動は650ガルである。阪神・淡路大震災、熊本地震では、非常に大きな揺れが記録されている。規準地振動は妥当か。

答弁 谷本副村長

伊方発電所の安全上基準地振動が650ガルということですが、愛媛県などの要請もあり1千ガルに対応できるものになっており、国と四国電力の勉

強会で明らかになっている。

質問 避難計画の実効性が検証されず再稼働をするのは問題だ。

福島原発事故の状況を考えると、再稼働の是非を立地自治体だけの狭い範囲で議論してもだめだ。事故は複合災害の中で起こる前提で考えなければならぬ。

質問 戸梶村長

四国は有数の地滑り多発地帯だ。地震が起これば、大規模な斜面崩壊、岩盤崩壊が発生し道路も損壊する。津波が来れば船は出ない。地震が起きた後に、多数の人が避難できるのか。

答弁 戸梶村長

知事は、「原発の依存度を徐々に減らしていく必要がある」と考える。原発に依存しない社会がどれだけの期間で実現できるのか、長い時間を要するのであれば、住民の社会生活や経済活動を安定的に維持するために、一定やむを得ない」という

コメントが出されている。

安全対策については、万全を期す必要があるということ、四国電力がそういう肯定的なことを出せないということについては、非常に不満が残るといふようなコメントとして出されている。

原発廃棄物を処理する方法が全くなく貯め続けていることを考えると、日本のエネルギーは原発依存ではなくて、代替的なエネルギーに方向転換すべきではないかと考える。



伊方原子力発電所

能津・日下間にトンネルを



森下雅文議員

質問 能津・日下間には、

どうしてもトンネルが必要だ。いの町以西の高規格道などとリンクさせるなど、様々な手立てを講じて、声を上げ続ける必要がある。

答弁 戸梶村長

昭和の合併の遺産の意味合いもあるが、こういう事情で、ここにトンネルがあれば県民にとっても非常に優位性が高い。県道への昇格を含めた形の中で、トンネルをというように的をしぼりながら進めていかなければならない。まずは、そこを検討させていただきたい。

花火への補助金の増額を

質問 能津の花火について、あれほど地元が頑張っているのだから、補助金をもう少し上積みをしてよいのではないかと。

答弁 森下参事兼室長

兼検査監
能津の方々の頑張りに敬意を表したい。予算査定の中で判断されることだが、補助金予算額の増額ができればと考えている。

村の駅へ出荷量の確保を

質問 農産物の出荷量を担

保するために、簡易ハウスへの補助の充実を考えるとどうか。
清流仁淀川を象徴する鮎の冷凍品や加工品を販

売する施設を整えてはどうか。

答弁 藤田産業環境課長

そのようなハウスがあればぜひ取り組みたいという人もいるので、制度を研究検討したい。冷凍室・冷蔵室などの整備も検討したい。

ゴルフ場について

質問 村の観光資源として、2つのゴルフ場の存在は重要だが、どう考えているか。

答弁 藤田産業環境課長

ゴルフを中学校のクラブ活動に取り入れることはできないか。
非常に大きな存在と考

えている。村全体の観光について、ゴルフ場等にも入っていただいで、どのような観光メニューを作っていくかということを検討したい。

答弁 片岡教育長

生徒数が減少する中クラブの数を増やすことは困難と考える。
社会体育活動での活用

を進めることは、可能性があるのではないかと考える。

土砂防災について

質問 県による土砂災害特

別警戒区域の調査は、学校や指定緊急避難所周辺を最優先してもらおうべきだが、要請はしたか。最悪の判定が出たら、日下小学校の移転ということもあるか。

答弁 大川内建設課長

日下小学校裏の調査については、本年度行っていただくように現在準備を進めており、結果によって対応を検討したい。

答弁 戸梶村長

そうなれば当然移転は検討していかなければならない。

地震防災について

質問 耐震事業への補助制

度等について、検討するとのことであったが見通しは。

答弁 森下総務課長

現行実施している内容に加え、上積みについても現在検討している。

その他の質問事項

5件



錦山カントリークラブ



グリーンフィールゴルフ倶楽部

農業者の減少・後継者の不在の現況に向けて



矢野孝明議員

質問 沖名地区においては、県・村の指導と支援を受けて集落営農組織を立ち上げ、平成27年2月に農事組合法人として設

立され、農地の保全がなされている。

農業の現況は、村内各地域においても同様と思うが、沖名地区以外での対応策を問う。

答弁 藤田産業環境課長

地域で共同経営をする集落営農といった形が、一番良いのではないかと思っている。

今後、「ひと農地プラン」ということで、地域の農業者との会を毎年1回開いてプランの見直し検討もしていきたいと考えている。

J Aの出資法人の計画の中で受委託事業も入っているというところから、日高の農業を一定支えていただけると期待もし、要請もしていきたいと考えている。

質問 下分地区で圃場整備

がなされず旧態のままであるが「優良農地の確保・作業の効率化・生産性の向上・農地保持・環境保持等」を考えた場合に整備が必要と思うが、村と

しての見解を問う。

答弁 藤田産業環境課長
権利的に制限がかかることから、少し難しい状況ではないかと考える。

質問 本郷地区東部の基盤

整備地に、大手企業が参画し施設園芸に取り組みと聞くがどの企業か。規模、作型を問う。

答弁 藤田産業環境課長

県外の企業で、面積は約2.5ヘクタールでロックウール栽培と聞いている。

質問 戸梶川上流部河川

は、近年の異常気象による集中豪雨(ゲリラ豪雨)時の増水・流速増を受け、河川の氾濫頻度が増している。

加えて河床低下が著しく、部分的にいつ崩壊してもおかしくない状況であるが、建設課として把握しているか。

答弁 大川内建設課長

まず県による現状確認は、河床の洗掘や土砂の堆積区間は一定把握して

いただいている。

村においても確認しており、県に状況を伝えるとともに、対策をお願いしている。

質問 高知西バイパスが鎌

田ICまで延伸され、県都までの時間短縮と利便性も高まり、村の交流人口が著しく増加している。

加えて西バイパスの延伸は、平成30年に国道33号に直結する予定であり、村に対しては、通勤や通行等の利便性がより一層高まり、定住促進に強い追い風を受けている。

このことから条件の良い小山を選定し、整地による家庭菜園付きの宅地造成が急務と思うが宅地造成について問う。

答弁 森下参事兼室長兼検査監
山切造成地として11カ所が候補地として上がっているが、いずれも課題がある。①莫大な村費②残土処理③墓地・祠が点在(移転)④急傾斜地危険区域⑤相統登記の可否等がある。第3の放水路が完成した後、民間の力を借りて安全性が確保できる小山を選定した宅地造成が、人口定住対策としては有効だと考える。



延伸・整備が進む高知西バイパス工事

300有余年の 治水問題解消へ!!



戸梶 章議員

し、関係機関がしっかりと取り組むことで、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化などを目指します。

**より良い
村創りを目指し!**

質問 村の職員も参加された「仁淀川重要水防箇所」の巡視・点検結果を確認したい。

答弁 大川内建設課長

先に公表された「仁淀川洪水浸水想定区域」の竜石地区では、12・8mの浸水深さが想定されている。これを受け関係自治体・高知県・国土交通省・気象庁による仁淀川大規模氾濫に関する減災対策協議会が設置され、神母樋門周辺からの越水なども含め仁淀川の減災への取り組み方針を策定

質問 「オムライス街道」に関わる新たな施策による販売効果や今後の課題などを確認したい。

答弁 藤田産業環境課長

販売効果としては、昨年とほぼ同様の実績であった。参加店舗が常に心掛けるべきと考えるオムライスの味や接客対応を求めて来ていただけただけの方々が、増加したと感じている。今後はオムライスに、村内の原材料を積極的に生かすなど、さらに村内

への波及効果を高めていきたい。

質問 「NPO法人グラウンドワークひだか」の活性化策として、広報によって活動状況を紹介するなど、より多くの方々に参加していただける体制を確立するべきと考えるが。

答弁 谷本副村長

グラウンドワーク活動は、村の生態系や自然に配慮した環境を守るため、調整池周辺でのメダカ大池アジサイ祭りや渋川トンボ祭りなどに取り組んでいただいております。行政としても広報などを活用し、住民の皆様方がより多くこれらの活動に参加できるように取り組みたい。

答弁 戸梶村長

日高村の観光資源であるフットパスなどが運営できるのもグラウンドワークの皆様方の活動によって、運動公園を含む調整池周辺の整備が行われることで、桜・アジサイ等四季折々の花やメダ

カなどを活用した各種イベント類が開催できる拠点が調整池周辺だと考えており、メダカハウスの活用等も含め、今年度中をめどに検討を進めたい。

行政報告のしんぶん!

質問 連携中枢都市圏構想への取り組み状況を聞く。

答弁 森下参事兼室長
兼検査監

日高村としては、高知市を起点とした広域観光事業の展開では、高知市から意外と近い日高村の豊かな自然等を活用した、戦略的な観光推進施策と避難所や避難経路の整備などの広域災害対策事業

の2事業、さらに従来からの水道事業の効率化、医療介護連携事業などの8事業を加え全10事業で、高知県の全ての市町村を圏域とした機能サービスの充実や向上を目指す。



仁淀川重要水防箇所の巡視・点検状況

議
会
日
誌

6 / 22	高知県町村議会議 長会監査・正副会 長会 議長	8	高知県立佐川高等 学校会計監査 議長	20	都道府県会長会・ 議員会館評議委員 会 議長	29	住宅入居者選考委 員会 議長	16	決算監査講評 野村 全議員
24	日高村佐川町学校 組合議会 議長・副議長	11	仁淀川改修期成同 盟会要望活動 議長	21	議会広報発行調査 特別委員会 西川・戸梶・岡 本・野村・森下	8 / 1 / 2	仁淀消防組合議会 臨時議会 岡本・矢野・横山	17	第8回緊急雇用創 出臨時特別基金事 業調査特別委員会 議長
27	仁淀川改修期成同 盟会総会 議長	12	第49回四国治水期 成同盟連合会通常 総会・第15回四国 河川協議会通常総 会 議長	(芳)	高知県市町村議会 議員研修会 全議員	3	四水連・四川協並 びに仁淀川改修期 成同盟会要望活動 野村	務組合議会 仁淀川下流衛生事 務組合議会 議長	
28	委員会 議長	15	四国地方整備局へ の要望活動 議長	22	防災訓練打ち合わ せ会 森下(芳)・矢 野・戸梶	9	民生委員選考委員 会 西川・戸梶	中央西部焼却処理 事務組合議会	
7 / 1	第1回仁淀川広域 市町村圏事務組合 議会臨時会 岡本・矢野	19	全国町村議会議長 会理事会・西日本 地区各県町村議会 議長	25	志国幕末維新博推 進協議会 議長	9	農業委員会 壬生	第33回高知県市町 村事務組合議会定 例会 議長	
	生・戸梶・議長	16	新図書館竣工式 全議員	22	例月現金出納検査 野村	10	高幡町村議会議員 研修 全議員	台風5号殉難者慰 霊祭 全議員	
	森下(雅)・森下 (芳)・西川・壬	16	高知県消防団長会 矢野	28	第7回緊急雇用創 出臨時特別基金事 業調査特別委員会	15	日高村戦没者追悼 式(71周年)	第2回臨時会	

23 安芸郡町村議会議
員等研修会 議長

24 第1回国民健康保
険運営協議会

西川・野村・森

下(芳)・矢野

25 例月現金出納検査

野村

四国四県会長会

議長

26 土佐・長岡・吾川
郡町村議会全議員
研修会 議長

経済建設厚生常任
委員会

壬生・矢野・西
川・岡本・戸梶

振興対策特別委員
会

岡本・壬生・森
下(雅)・横

29 総務常任委員会

森下(雅)・森
下(芳)・議

長・野村・横山

治水対策特別委員
会

戸梶・森下

(雅)・壬生・
森下(芳)・矢

野

31 秋の交通安全運動

打ち合わせ会

議長

9 / 1 議会運営委員会

森下(雅)・壬

生・西川・横

山・森下(芳)

編集後記

今年も異常気象、夏は猛暑、その後は気まぐれ台風の影響があり、全国各地で大きなゲリラ的集中豪雨による災害が起こり、悲しいニュースが流れた。

日高村においても、日下川新放水路の整備や河川改修整備等、ハード事業対策の実施及び計画が進んでおり、今後における流域浸水被害の発生及び拡大の防止を図り、安全で安心な流域環境を形成し、将来にわた



日下保育園能津分園園舎の現況

り維持していくことを目的とする取り組み、水の行き場、自然の持つ湛水能力の維持や、住宅整備に床高設定等の流域固有のルールづくりも必要ではないでしょうか。

朝晩の寒暖の差が厳しくなり、肌を刺すような寒気も感じるようになります。風邪などひかないように、体調には十分留意をしてください。

次回議会は、12月8日(木)午前10時に開会の予定です。お気軽に、傍聴にお越しください。

議会広発行調査特別委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 尾崎 政廣

議会広報発行調査特別委員会

- 委員長 西川 龍子
- 副委員長 戸梶 章
- 委員 岡本 光男
- 委員 野村 重夫
- 委員 森下 芳文

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。